

# 中期経営計画

団体名	岡山港埠頭開発株式会社
計画期間	令和8年4月1日～令和13年3月31日

基本事項			
市所管課	都市整備局 道路部管理課	基本財産・資本金等(千円)	22,000
出資額(千円)	7,000	出資比率	31.80%

1 中期経営目標	
団体の設立目的	岡山市が岡山港に係る各社の力を結集し、港湾管理者である岡山県と協調して、岡山港の発展を図る目的で設立された。
現在の外郭団体としての必要性、役割	岡山港港湾施設指定管理者に関わる以下の業務 <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理施設の使用許可・占用許可に関する事務</li> <li>・指定管理施設の不法使用者に関する指導業務</li> <li>・利用料金の徴収・減免に関する業務</li> <li>・指定管理施設の維持管理(保守点検・清掃・修繕)に関する業務</li> <li>・指定管理施設の保安対策業務</li> <li>・港湾関係団体の事務局業務</li> </ul> 上記を通じた岡山港の活性化と地域産業の発展への貢献
団体のあるべき姿・長期方針(団体の今後の方向性)	平成20年4月に岡山県より岡山港港湾施設指定管理業務を受託し、令和8年4月より第5回目の指定管理業務を受託。 令和7年度までは公共事業の拡大に伴う施設利用料の増収により順調に業績を上げることができたが、令和8年度からの第5回目の指定管理業務では岡山県への基準納入額が増額され令和7年度までの実績に比べ減益が予想される。また、物価高騰、中東情勢の影響により収入面でも不安定な状況が予想される。 今後も経費削減に努めるとともに、利用者サイドの視点に立ったサービスを提供することにより、利用者の減少防止及び新規利用者の獲得に努める。 安全・安心確保のための定期的な港湾施設巡回の実施。 各種港湾団体との情報共有。

団体の現状・課題	岡山港の中・長期的な県湾施設利用の安定的な利用促進 岡山港の利用船舶の減少
課題の要因	新規顧客獲得への活動 公共事業に伴う施設利用の変動 港湾事業者の安定した利用促進の調整 岡山港の浚渫計画(不透明) 船舶航路及び岸壁が浅い

課題解決の方向性・手法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全・安心の確保</li> <li>・利用者の声を反映した管理運営</li> <li>・公平・平等な管理運営</li> <li>・コスト削減を可能にする管理運営</li> <li>・地域に貢献する管理運営</li> <li>・新規利用者の獲得(利用促進)</li> </ul>
-------------	--



中期経営目標	<p>公平・平等な管理運営を行い、利用者の減少防止と新規利用者の増加に努め、指定管理業務の収入を確保する。</p> <p>指定管理業務に含まれた緑地管理及び施設修繕費(施設維持管理費)を従来水準に維持</p> <p>岡山港(福島・高島地区)の定期的な清掃活動の実施</p> <p>施設利用者・港湾関係団体との意見交換(アンケート調査)の実施</p>
--------	--

## 2 目標達成のための具体的な取組

目標①	安全・安心確保のための定期的な巡回監視の実施
取り組み内容	定期的な安全パトロールの実施
指標①	巡回監視回数 2回/日
指標②	

目標②	公平・平等な管理運営を行い、利用者の減少防止と新規利用者の増加に努め、指定管理業務の収入を確保する。
取り組み内容	新規顧客獲得の施設利用促進活動
指標①	指定管理業務収入額 191,000千円
指標②	

目標③	利用者アンケートによるニーズ調査の実施
取り組み内容	利用者アンケート調査の実施
指標①	1回/年
指標②	港運関係団体の要望聞き取り/不定期

目標③	指定管理業務に含まれた緑地管理及び施設修繕費(施設維持管理費)を従来水準に維持
取り組み内容	専門業者委託による緑地管理、施設修繕維持管理
指標①	施設維持管理費 9,300千円/年
指標②	

目標③	岡山港(福島・高島地区)の定期的な清掃活動の実施
-----	--------------------------

取り組み内容	定期清掃
指標①	1回/週
指標②	